

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和元年9月4日実施)

| | 図 書 名 等 | 聴 き 取 り 内 容 |
|---|--|---|
| 1 | <p>H&C Comics ihr HertZ Series 270 fill the cream donut 令和元年8月15日発行</p> | <p>性器の消しが不完全。男性器の形がまるきりわかる。指定該当</p> <p>性器の修整がないのに等しく、性描写も多い。指定やむなし。</p> <p>ストーリー全体から判断すると、人格否定的な面はない。ただ性器の描写は修整が少なく露骨な表現になっている。指定やむなし。</p> <p>サラリーマン、異動先という設定から始まっているが、いざ性描写になると性器がしっかりと分かってしまう。ストーリー性はあると思うが性描写は卑わいな感じを受ける。指定該当</p> <p>初めて行った店のセックスにはまってしまったというストーリーだが、性器の形がリアルすぎる。しかもアップで消しも甘い。絵が何を表現しているのかわからない部分がある。人格否定とまではいかないが卑わい感を感じる。青少年より大人向きである。指定該当</p> <p>性器の修整は線を何本か入れただけで甘いと言わざるを得ず、結合部もアップや断面を描くなど露骨。暴力的、強制的なシーンは見受けられないが、擬音、体液描写も多い。想定される読者層を考えると、悪影響が有るとは思えないが、修整の不十分さは否めない。指定該当</p> <p>ストーリー展開に卑わい感はあまり感じられないが、性器の描写の修整がごく一部のため、成人向き。指定該当</p> <p>性器の修整が甘過ぎる。明らかにハッキリと描いておいて、白い帯をのせるというよくある手法のうえ、描き方も大きく、非常に鮮明で露骨。指の挿入シーンなども、肛門の中からみたアングルや、横から透けて見える描き方で、卑わいか否かはさておき露骨である。擬音は始めから多めであり、体液も話が進むにしたがっておびただしくなる。からみの全体像も露骨であり、青少年に見せるのはいかがなものかと考える。指定該当</p> <p>風俗店で出会った見知らぬパートナーとの純愛がベースになっている作品。BL作品によく見受けられる人格否定を伴った暴力、脅迫シーンもなく、また該当するページも多くはない印象がある。ただ性器の露出部分の修整が全くと言っていいほどなされておらず、その形状も血管等まで細部にわたって表現されており、大変生々しい。体液描写も激しい。指定やむなし。</p> <p>男性器は血管までわかってしまう上に、それを強調するかのような画面構成になっていることから、これのみで指定該当と考える。</p> <p>画力や漫画の内容の出来よりも消し方があまりにもラフすぎる。この消し方は青年レベルでは考えにくいと思う。指定やむなし。</p> <p>特別絵がうまいとかきれいという感じはしないが、男性器はリアルで丁寧に描いている印象。四角く抜いて隠している所もあるが、あまりにも男性器そのもの。指定該当</p> <p>しっかりした作品性があり、卑わい感は感じられない。LGBTへの偏見なども丁寧に表現されており、ゲイの男性同士の恋愛ドラマとしてのクオリティも高い。現代的な価値があるともいえる。全体分量に占める性愛表現部分の量も比較的少ない。しかし、消しが甘く、性器がはっきり見えている点、看過するのは困難。残念ながら指定該当と言わざるを得ない。</p> <p>全体的には人格否定している感じもなく、過激なイメージも受けなかった。ただ、性交シーンは性器の修整が甘く、挿入部分もリアルな箇所があった。総合的に判断し、今回は保留とする。</p> <p>196ページのうち真ん中の60ページはエロシーンなし。男性性器を2～3箇所での消しのため、すべて外形がわかり、2/3はそんなシーンのコミック。男性同士のため卑わいな感じはない。保留</p> |

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和元年9月4日実施)

| | 図 書 名 等 | 聴 き 取 り 内 容 |
|---|--|---|
| 2 | <p>SPコミックス 彼女と僕のいえない秘密</p> <p>令和元年 8月16日発行</p> | <p>性器の消し方は良いが、全裸での性行為のコマ数が多い。指定該当</p> <p>性器は修整はされているものの、性描写が多い。指定やむなし。</p> <p>全編にわたって性描写が多く、卑わいな感じを受ける。性器に関しては具体性はないが不倫のストーリーや、秘密の関係など、内容的にもよろしくないのではと思う。指定該当</p> <p>描写がリアルで上手である。しかし、暴力的、強制的な描写が多く、読み進むと人格否定と卑わい感が強く感じられる。不倫も加わり、拘束場面も見られる。擬音、体液描写もリアルで18歳未満には行為を助長させる。指定該当</p> <p>画力もありストーリーもあり、テーマに寄った素敵な漫画。消し方も青年レベルで構成しているが、合体部分も大きく、たくさん描き過ぎかと思う。ここまで登場させなくてもよかったのでは。難しいが全てを踏まえ、指定やむなし。</p> <p>性交シーンが多く体液、精液の描写も激しい。性器については消し、ボカシを施しているが、描き方が大胆すぎるのが卑わい感を増している。指定該当</p> <p>ストーリーの構成だけを考えれば、問題ない印象。性器描写も修整を施しており問題ない。しかし、読切の各エピソードに散りばめられた器具や拘束具の使用、レイプ風の複数人との性交などの場面は、文脈上では一定の歯止めがかかっているものの成人向きの印象もある。保留</p> <p>全編にわたり卑わいな感じを与えるが、性器の描写には配慮がされている。不倫がテーマになっており、それなりに合理的な筋書きだと思う。指定非該当</p> <p>男性器も女性器も共に修正はされている。全体的にソフトなイメージで人格を否定されている印象は受けない。絵もきれいでストーリー性もある。指定非該当</p> <p>修整は確実に加えられている。擬音、体液描写は多い印象だが、結合部等も描かれていない。一部、支配、ストーカー、拘束、相手を殴る等のシーンが描かれているが、指定非該当</p> <p>絵が上手なため、からみのシーンはややセクシーである。指の挿入シーンも体が透ける描き方で、やや露骨。擬音は多くはないが描いているところがあり、体液も派手なページがある。拘束、器具使用もある。しかし、性器部分は白く飛ばして消しは充分。短編集のため、ストーリー性が低い反面、性行為もあっけなく終わり、卑わい感を覚える前に話ごとしてしまう印象が強い。青少年に見せるべきではないとまではいえない。指定非該当</p> <p>短編集であり、それぞれの話にともない性行為が行われているため、本全体にわたって性描写が続く印象はある。ただ性器の修整等は充分に行われており、体液もほぼ描かれていない。人格否定等の表現も見受けられない。住居や高層ホテル内で乱暴されるシーンがあるが、あくまで夫婦間同意の行為。また「暴行監禁容疑で逮捕状請求」という表現があるが作中では合法的な妄想シーンが描かれているのみでギミックの範囲内と考える。指定非該当</p> <p>性交、性交類似行為がたくさん描かれているが、性器は修整がされており、ほぼ描いていない。また大勢で違法なことをやっているように見えるが、実はそうでなかったという種明かしもされており、そのようなシーンを描く必然性というものも感じた。指定非該当</p> <p>画格もあり卑わいな印象は受けない。内容においても、人格否定を肯定するような表現は見受けられない。性器部分の消しは完全になされている。表現として現代社会の許容範囲にあり、指定非該当</p> <p>修整は白抜きで充分消されている。性的行為を露骨に描写しているが、卑わいな感じがしない。指定非該当</p> |